

平成28年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団 体 等 名	尾崎研究室
学生代表者氏名 (所属・学年)	柿木 泰成 (工学研究科 機械知能工学専攻 2年)
責任教職員氏名	尾崎 功一

1. 事業名	移動ロボット技術の市民向けデモンストレーション
2. 実施時期	平成28年7月～10月
3. 実施場所	宇都宮大学内, 宇都宮東図書館, 他周辺地域施設, つくばロボット特区
4. 事業の内容等	本研究室で開発されたロボットによる市民向けのデモンストレーション (以後, デモ) を行った. 本研究室では, 人間共存型の自律移動ロボットに関する研究開発を行ってきた. その中で, 安定した自律移動技術や, 国家プロジェクトであるつくばロボット特区への参加が可能になるほどの完成度の高いロボットを開発するための知見を培ってきた. それに加えて, ロボットに対する市民の反応の調査や, 研究成果の市民への周知を行っている. 実際のデモの内容は以下となる. ・搭乗型ロボットの自律移動 (数百m程度) ・搭乗型ロボットの操縦体験 (子ども向け) ・アンケートの実施 ・ポスター発表やチラシ配り 人間を乗せての屋外走行が可能な自律移動ロボットは全国でも数少ないため, 貴重な経験を提供できると考えて企画を行った. これらの活動を通して, 人間と共存するロボットのよりよい形を模索すると共に, 我々の研究に関して認知を得るのが目的である.
5. 事業の成果と今後の課題	多くの来場者を得て, 充実したデモを行うことができた. 屋外でのデモの経験と内容の希少性が評価され, 県内だけではなく, 山形県で行われたロボット学会講演会の併設展示でのデモ依頼もあった. 市民反応の調査結果は, まとめて欧文紙に投稿した (採択は未確定).



(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書 (添付書類を含む) はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思ひます。